

平成31年3月19日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

総務文教常任委員会
委員長 原 賢 志

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

再生可能エネルギーについて

2 調査目的

再生可能エネルギーの有効活用のため

3 調査の経過

□平成30年5月15日

今後の調査事項について、協議・検討を行った。

□平成30年5月30日

生活環境課長の出席を求め、町当局のこれまでの取り組みと今後について説明を受けた。

□平成30年7月6日

これまでの調査経過を確認し、今後の調査事項について、協議・検討を行った。

□平成30年7月20日

今後の調査事項について、協議・検討を行った。

□平成30年8月20日

今後の調査事項について、協議・検討を行った。

□平成30年10月30日

今後の調査の進め方について、協議・検討を行った。

□平成30年11月13日

委員会調査報告について、協議・検討を行った。

□平成31年1月17日

生活環境課長の出席を求め、地中熱について説明を受けた。

□平成31年2月5日

地中熱利用への補助等について、協議を行った。

□平成31年2月15日

今後の調査の進め方について、協議・検討を行った。

4 調査結果

本町における再生可能エネルギー導入の取組は、「再生可能エネルギー導入推進計画」に基づき進められていることから、各再生可能エネルギーについて調査を行った。

太陽光や水力関係では、クリアすべき要件や採算性について課題があり、風力発電については、民間事業者が観測塔を設置し風況の観測を予定している状況である。ハイブリッド街路灯設置事業は実施されたものの、再生可能エネルギー推進事業の注目事業として導入を検討していた木質バイオマス熱電併給事業については、燃料となるペレットの安定供給や事業の安定性等について調査を行ってきたが、開発許可が得られず計画を断念することとなった。

今後、町においては、「再生可能エネルギー推進の町」宣言を積極的にアピールすると共に、住宅用再生可能エネルギー設備等設置費補助事業の継続と地産地消による薪ボイラーの導入について調査・研究を実施しながら、「再生可能エネルギー導入推進計画」の推進に努められたい。